

ウェザーニューズ、全国 5.1 万人と実施した『お花見調査』結果を公開 女性の 5 人に 1 人が“ひとり花見”好き！男性より“花見酒”を好む傾向に ～気乗りしない“義理お花見”約半数が経験するも、実際楽しかったのは 6%のみ～

株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉県美浜区、代表取締役社長:草開千仁)は、日本の春の風物詩であるお花見の実態を調査するため、2月27日～3月10日にスマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」を通して「お花見調査」を実施し、その結果を発表しました。全国 51,295 人の回答をまとめた結果、女性の 5 人に 1 人が“ひとり花見”を好み、男性よりも女性の方が“花見酒”をしている方が多いことがわかりました。また、主に会社関係のお付き合いで、気乗りしない“義理お花見”をしたことのある方は約半数にのぼり、実際に参加して一番楽しかったと感じた方はわずか 6%に留まりました。

本調査結果の詳細は、スマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」やウェザーニューズのウェブサイトで開催するとともに、今後のサービスに活用していきます。

ポイント

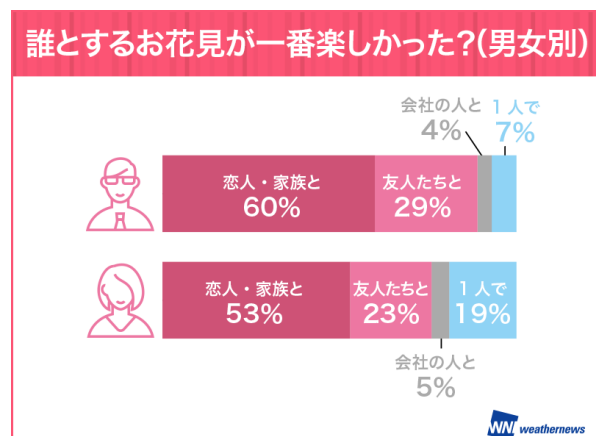
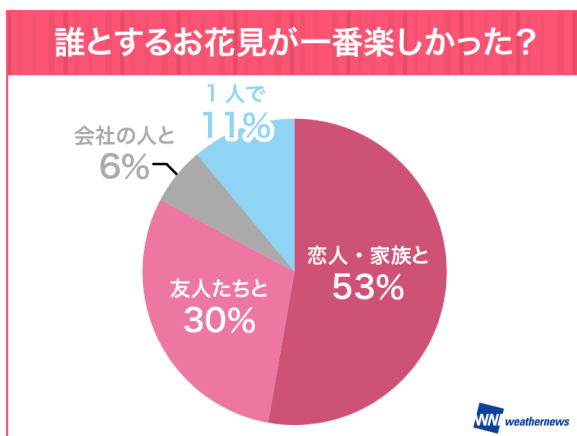
- (1) 女性の 5 人に 1 人が“ひとり花見”好き！全国トップは青森県で 18%が“ひとり花見”派
- (2) 義理チョコならぬ“義理お花見”、約半数が経験するも実際楽しかったのは 6%のみ
- (3) お花見で何飲む？男性より女性の方が“花見酒”をしている傾向に

本プレスリリースの素材のダウンロード	「2018 年お花見調査」の詳細はこちら	
ウェブ版プレスリリース「2018 年お花見調査」 https://jp.weathernews.com/news/22558/	スマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」をダウンロード後、『お知らせ』にアクセス	ウェザーニューズサイト「2018 年お花見調査」 https://weathernews.jp/s/topics/201803/170135/

◆意外と人気！？女性の 5 人に 1 人が“ひとり花見”好き

「誰とするお花見が一番楽しかった？」と質問し、“恋人・家族と”“友人たちと”“会社の人と”“1人で”から回答いただきました。全国 6,547 人から寄せられた回答を集計した結果、最も多かったのは“恋人・家族と”で 53%、次いで“友人たちと”が 30%でした。このことから、経験上、約 8 割の方が親しい人とのお花見が楽しかったと感じていることがわかりました。

一方、男女別にみていくと、“1人で”の回答は男性が 7%なのに対し、女性は 19%と、5 人に 1 人が“ひとり花見”を好む結果となりました。西・東日本の桜はもうすぐ見頃を迎えますが、女性をお花見に誘う際は、落ち着いて桜を見たい“ひとり花見”派かどうか事前のリサーチが必要と言えそうです。



都道府県別にみると、最も“ひとり花見”好きが多いのは青森県で18%、次いで富山県と宮崎県で16%でした。青森県は、過去数回のお花見調査で予算や回数、場所取りの時間、お花見の時間など全ての項目で上位にランクインするほど、お花見への情熱あふれる県民性が特徴です。お花見愛の強い県民らしく、大勢での宴会形式から、一人でのんびり桜を眺める形式まで、様々なスタイルでお花見を楽しんでいることが伺えます。

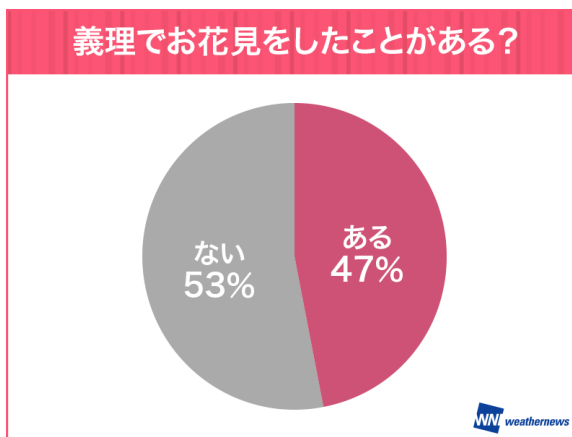
◆義理チョコならぬ“義理お花見”、約半数が経験するも実際楽しかったのは6%のみ

会社やサークルなどのお付き合いで、お花見にどの程度の方が参加したことがあるのか調べるため、「義理でお花見をしたことがある？」と質問しました。“ある”“ない”から回答いただいたところ、全国 7,115 人の内、約半数が“ある”と回答しました。

“義理お花見”の相手や内容を伺うと、「会社」や「上司からの誘い」がほとんどで、中には「新入社員の時に場所取りへ」という回答もありました。歓迎会の時期でもありますし、春の会社行事として行なっているところも多いようです。

ただ、多くの方が参加したことがある“義理お花見”ですが、前述の「誰とするお花見が一番楽しかった？」の調査から、実際に一番楽しかったと感じている方はわずか6%に留まりました(“会社の人と”と回答した割合)。“義理お花見”では何かと気をつかう場面が多いので、納得の結果と言えそうです。

都道府県別にみると、最も“義理お花見”の経験者が多いのは岡山県で70%、次いで宮城県と石川県が61%、島根県が60%、徳島県が59%でした。上位の地域では、お花見を企画する会社やサークルなどが他県より多い、もしくは誘いを断るのが苦手だったり、お花見幹事の顔を立てる気遣い屋が多いのかもしれませんが。

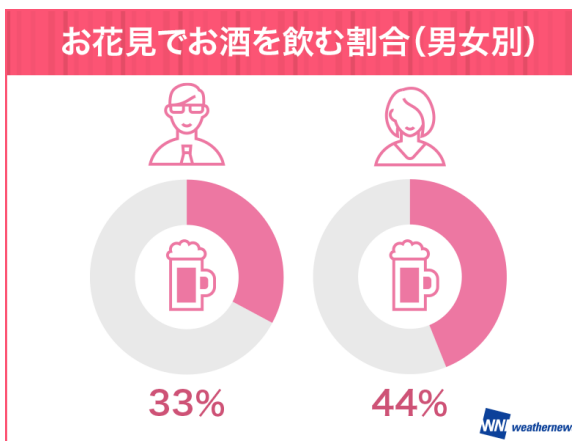


◆お花見で何飲む？男性より女性の方が“花見酒”をしている傾向に

「お花見の時、何を飲むことが多い？」と質問し、“冷たいお酒”“ホットなお酒”“冷たいソフトドリンク”“ホットなソフトドリンク”から回答いただきました。全国 6,403 人の回答を集計した結果、“冷たいお酒”が41%と最も多く、次いで“ホットなソフトドリンク”が27%、“冷たいソフトドリンク”が20%、“ホットなお酒”が12%となりました。

具体的な飲み物を伺うと、“冷たいお酒”では「ビール」が圧倒的に多く、“ホットなソフトドリンク”では「ホットコーヒー」が支持されていました。

男女別にお花見でお酒を飲む割合(“冷たいお酒”“ホットなお酒”の合計)をみると、男性が33%、女性が44%と、男性よりも女性の方が“花見酒”をしていることが判明しました。男性からいただいたコメントの中には、「ドライバーのためホットコーヒーです」という声もあり、車でお花見へ行く場合、運転を担当することの多い男性はソフトドリンク、女性はお酒、ということになるようです。



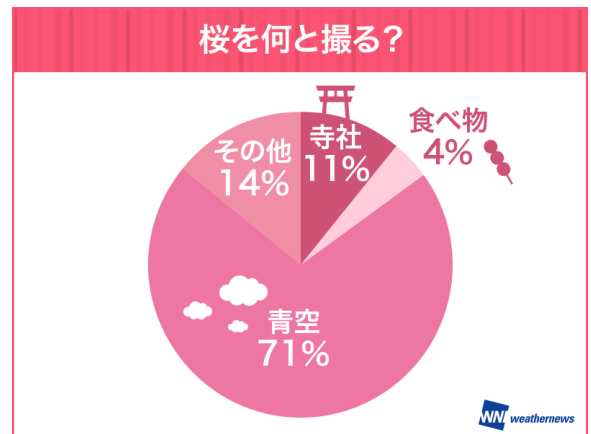
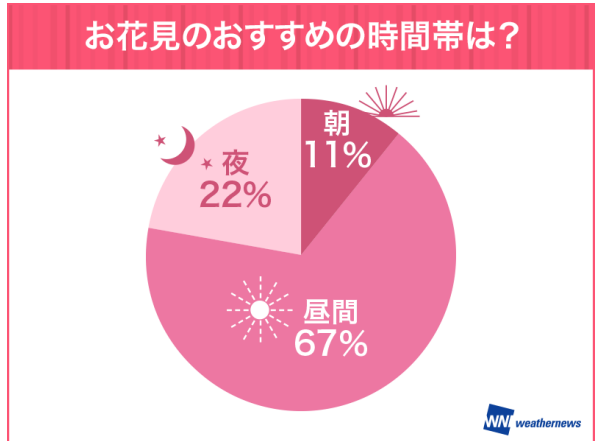
◆お花見は天気を重要視！青空の広がる暖かい日が一番人気に

「お花見のおすすめの時間帯は？」と質問し、「朝」「昼間」「夜」から回答いただきました。全国 6,690 人の回答を集計した結果、一番人気は「昼間」で約 7 割の方が選択しました。理由としては、「朝や夜はまだ寒いから」という声が多く寄せられました。桜が咲いていても、朝晩はまだまだ寒い時期なので、朝や夜のお花見を計画する際は、寒さ対策に力を入れた方が良さそうです。

また、「夜」を選んだ 22%の方からは「ライトアップされた桜が幻想的」「仕事終わりに一杯」、「朝」を選んだ 11%の方からは「空いてるのでゆっくり見られる」「花粉が少ない」「写真に他人が入らない」との声が寄せられ、それぞれの良さ・楽しみ方がわかりました。

回答を詳しくみると、「朝」「昼間」「夜」で共通していたキーワードは「写真撮影」でした。確かに毎年この時期の SNS は桜の写真でいっぱいです。そこで、具体的にどういう写真を撮りたいのか伺いました。

「桜を何と撮って SNS にあげたい？」と質問し、「寺社」「食べ物」「青空」「その他」から回答いただいたところ、全国 6,370 人の内、71%が「青空」と回答しました。「お花見のおすすめの時間帯」で「昼間」が圧倒的に人気だったことから、多くの方が、青空が広がる暖かい日にお花見を希望していることがわかりました。青空と気温に注目すると、多くの方がお花見で天気を重要視しているとも言えそうです。



◆お花見弁当で欠かせないもの BEST10！ダントツ人気は“からあげ”

「お花見弁当で欠かせないものは？」と質問し、フリーコメントで回答いただきました。全国 5,046 人から寄せられた回答を集計した結果、圧倒的に支持を集めたのは“からあげ”“おにぎり”“たまご焼き”でした。子どもから大人まで好んで食べられる定番おかずが人気のようです。

お花見弁当で何を作るか(購入するか)悩んだ場合に、参考としてみてはいかがでしょうか。

お花見弁当、欠かせないものは？

1位	からあげ	1,938票
2位	おにぎり	1,664票
3位	たまご焼き	1,162票
4位	ウインナー	298票
5位	お寿司	246票



◆参考：2018年お花見調査結果(都道府県別ランキング)

“ひとり花見”好きが多い			“義理お花見”が多い			お花見にはお酒派！		
順位	都道府県	割合(%)	順位	都道府県	割合(%)	順位	都道府県	割合(%)
1位	青森県	18	1位	岡山県	70	1位	熊本県	68
2位	富山県	16	2位	宮城県	61	2位	沖縄県	62
2位	宮崎県	16	2位	石川県	61	3位	北海道	61
4位	奈良県	15	4位	島根県	60	3位	宮崎県	61
4位	鳥取県	15	5位	徳島県	59	5位	東京都	59
4位	徳島県	15	6位	山形県	58	6位	青森県	58
7位	北海道	14	7位	福岡県	57	6位	島根県	58
7位	沖縄県	14	8位	和歌山県	55	6位	福岡県	58
9位	埼玉県	13	8位	愛媛県	55	9位	山梨県	57
9位	長野県	13	10位	福井県	54	9位	高知県	57
9位	京都府	13	11位	栃木県	53	11位	大阪府	56
9位	山口県	13	11位	広島県	53	12位	秋田県	55
13位	滋賀県	12	13位	群馬県	51	12位	兵庫県	55
13位	福岡県	12	13位	岐阜県	51	14位	宮城県	54
15位	栃木県	11	13位	宮崎県	51	14位	福島県	54
15位	千葉県	11	16位	茨城県	50	14位	栃木県	54
15位	東京都	11	17位	青森県	49	14位	埼玉県	54
15位	静岡県	11	17位	熊本県	49	14位	神奈川県	54
15位	愛知県	11	19位	福島県	48	19位	茨城県	53
15位	大阪府	11	19位	埼玉県	48	19位	愛知県	53
15位	鹿児島県	11	19位	東京都	48	19位	愛媛県	53
22位	福島県	10	19位	香川県	48	22位	福井県	52
22位	神奈川県	10	23位	兵庫県	47	22位	京都府	52
22位	三重県	10	23位	鹿児島県	47	22位	山口県	52
22位	広島県	10	25位	三重県	46	25位	滋賀県	51
22位	愛媛県	10	25位	滋賀県	46	26位	群馬県	50
27位	山形県	9	27位	千葉県	45	26位	千葉県	50
27位	茨城県	9	27位	大阪府	45	26位	新潟県	50
27位	新潟県	9	29位	神奈川県	44	26位	石川県	50
27位	兵庫県	9	29位	新潟県	44	26位	鳥取県	50
27位	熊本県	9	29位	山梨県	44	31位	岩手県	49
27位	大分県	9	29位	愛知県	44	31位	静岡県	49
33位	宮城県	8	33位	北海道	43	31位	岡山県	49
33位	岐阜県	8	34位	秋田県	42	31位	広島県	49
33位	岡山県	8	34位	静岡県	42	35位	長野県	47
36位	秋田県	7	34位	大分県	42	35位	佐賀県	47
36位	福井県	7	37位	山口県	41	37位	和歌山県	46
36位	香川県	7	37位	高知県	41	38位	山形県	45
39位	群馬県	6	39位	岩手県	40	39位	三重県	43
39位	石川県	6	39位	長崎県	40	39位	奈良県	43
39位	和歌山県	6	41位	奈良県	38	39位	長崎県	43
42位	長崎県	5	42位	長野県	37	42位	香川県	42
43位	島根県	4	42位	佐賀県	37	43位	富山県	41
43位	高知県	4	44位	京都府	36	43位	鹿児島県	41
45位	岩手県	3	45位	鳥取県	33	45位	大分県	40
45位	山梨県	3	46位	富山県	32	46位	岐阜県	38
47位	佐賀県	0	47位	沖縄県	16	47位	徳島県	37
全国平均		11	全国平均		47	全国平均		53